

千葉県福祉サービス第三者評価の評価結果

1 評価機関

名 称	ナルク千葉福祉調査センター
所在地	〒297-0026 千葉県茂原市茂原480
評価実施期間	平成21年8月20日～平成22年2月24日

2 評価対象事業者

名 称	キッズプラザアスク七光台保育園	種別：	保育所
代表者氏名	小池 紀子	定員（利用者人数）：	60名(76名)
所在地	〒278-0046 千葉県野田市谷津367	TEL	04-7126-5221

3 評価結果総評（利用者調査結果を含む。）

<p>特に評価の高い点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2009年4月の開園で今年度の第三者評価を受審した意欲と努力は評価できます。 ・地中熱を利用した人や環境にやさしい空調システムが完備され、窓が多く光や風を取り込み木のぬくもりがある明るい保育園です。 ・近隣は豊かな自然に恵まれ、園に隣接した借りた畑で野菜を栽培し、食農指導員と連携した食育保育や保育プログラム(英語・リトミック・体操)など楽しみながら体験できる保育がおこなわれています。 ・職員は保育に前向きに取り組み、園児も明るく活発に保育園での生活を楽しんでいます。
<p>特に改善を求められる点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園庭が砂地で傾斜があり池や築山が作られているため、園児が遊具などで自由に遊べるスペースが限られています。保護者アンケートでは安全性への心配が指摘されています。本部とも相談の上、思い切った改善をはかることが望まれます。 ・事業運営の基本は保育園業務マニュアルで明らかにされています。中長期計画の具体的な課題を組織的・計画的に掘り起こし、人材の育成、園内のコミュニケーションのあり方、地域とのかかわりなど毎年度の目標を明示することを期待します。 ・寝具カバーなどは定期的に洗濯し保護者の負担軽減になっていますが、天日干しのため作業に手間がかかっています。職員の作業を軽減する方策を期待します。

4 第三者評価結果に対する事業者のコメント（受審事業者の意見）

<p>開園して一年目で、職員一同で一つ一つ作り上げてきました。中長期計画の作成が具体的に話し合えなかったという反省点はあります。</p> <p>なにもかも作り上げていったということで、確認しながら職員同士で話し合ってきました。沢山の反省点は出ましたが、それを次の課題にしていきます。</p> <p>常に安心安全を考え、子ども一人ひとりに目を向け、家庭的な保育を行っていきます。</p> <p>職員が常に前向きな姿勢で、子ども達と取り組んでくれて、いつも笑顔が溢れていました。第三者評価を受けたことにより、いろいろな気づきが出来ました。この一年をステップに今後の保育にあたっていきます。</p>
--

5 事業者の特徴（受審事業者の意見）

<p>全国で保育所83ヶ所（認可外含む）、学童・児童館45ヶ所を運営しており、どの運営施設でも『安全・安心を第一に』かがげ、利用者の方に信用、満足していただける場を提供しております。</p> <p>民設民営として、本年4月1日開園しました。環境は豊かな自然に恵まれ、地中熱を利用した空調システムが完備され、木のぬくもりがある明るい保育園です。</p> <p>今回の第三者評価の結果を全職員がしっかり受け止め、今後の保育へ反映していきます。</p>

千葉県福祉サービス第三者評価の評価結果

6 分野別特記事項

【施設共通項目】

大項目	分野別特記事項（特に優れている点・特に改善を求められる点）
福祉サービスの基本方針と組織	<ul style="list-style-type: none"> ・本部の運営理念のもとに保育園の保育目標が定められ、入園時に保護者に説明し、園内にも掲示されています。 ・本部・保育園の役割分担も明らかになっています。週1回の園長会議などでコミュニケーションがはかられ、その情報は職員会議・昼礼などで伝えられ共有化されています。 ・効率的な会議の在り方や情報伝達の方法などに工夫が望まれます。
組織の運営管理	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者には朝夕の短い時間でも丁寧に対応し、信頼関係が徐々に築かれてきています。運営委員会には40名の保護者が出席し、意見交換も活発におこなわれています。 ・職員はその役割を認識して意欲的に取り組んでいます。保育のテーマ別エリア研究会や本部の研修への参加など研修機会は確保されています。 ・個人情報の取り扱い、プライバシーの保護、苦情解決などマニュアルが整備されています。 ・安全・安心は、セコム緊急通報システムの整備や安全マニュアルによる取り組みが行われています。 ・職員の勤務はシフト制で週休・年休も必要に応じて取得されています。 ・休憩時間があまっています。場所をかえて交替で取得できるよう休憩室を整備し休憩時間の取得の工夫を期待します。
適切な福祉サービスの実施	<ul style="list-style-type: none"> ・入園時の面談、運営委員会、クラス懇談会、保護者面談などで保護者ニーズが把握され、サービスの質の向上に反映されています。 ・配慮を必要とする園児への対応は、臨床心理アドバイザーによる巡回指導で保育の援助の相談が定期的におこなわれ保育に活かされています。 ・各種マニュアルは整備されていますが、現場で活用できる運用の改善を期待します。

【施設共通項目】

大項目	分野別特記事項（特に優れている点・特に改善を求められる点）
サービスの内容	<ul style="list-style-type: none"> ・生活や遊びの中で自然に異年齢の交流がはかられ、また保育プログラムでは年齢別で活動し、楽しく参加できるように配慮されています。 ・産休明けからの乳児の受け入れや一時的保育・公園でのぼかぼか広場など、地域ニーズに応えた子育て支援が取り組まれています。 ・保育の計画が保育所保育指針や保育プログラムを踏まえ、一貫性のある総合的な計画に見直されることが望まれます。また、発達過程に即した遊びのコーナーや玩具などを自由に取り出して遊べる保育の環境づくりを期待します。 ・戸外で体を十分動かして遊ぶことが必要です。園庭の遊具や近隣の公園などの活用が望まれます。

福祉サービス第三者評価共通項目（施設系）の評価結果					評価結果
大項目	中項目	小項目	項目		
I 福祉サービスの基本方針と組織	1 理念・基本方針	(1) 理念・基本方針の確立	1 ①理念が明文化されている。	A	
			2 ②理念に基づく基本方針が明文化されている。	A	
		(2) 理念・基本方針の周知	3 ①理念や基本方針が職員に周知・理解されている。	A	
			4 ②理念や基本方針が利用者等に周知されている。	A	
	2 計画の策定	(1) 中・長期的なビジョンの明確化	5 ①中・長期計画を踏まえた事業計画が作成されている。	C	
			6 ①事業計画達成のための重要課題が明確化されている。	B	
		(3) 計画の適正な策定	7 ①施設の事業計画等、重要な課題や方針を決定するに当たっては、職員と幹部職員とが協議する仕組みがある。	A	
	3 管理者の責任とリーダーシップ	(1) 管理者のリーダーシップ	8 ①質の向上に意欲を持ち、その取り組みに指導力を発揮している。	A	
			9 ②経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	A	
II 組織の運営管理	1 経営状況の把握	(1) 経営環境の変化等への対応	10 ①事業経営を取り巻く環境が的確に把握されている。	A	
			11 ②経営状況を分析して、改善すべき課題を発見する取り組みを行っている。	A	
	2 人材の確保・養成	(1) 人事管理体制の整備	12 ①施設の全職員が守るべき倫理を明文化している。	A	
			13 ②人事方針を策定し、人事を計画的・組織的にやっている。	B	
			14 ③職員評価が客観的な基準に基づいて行われている。	A	
		(2) 職員の就業への配慮	15 ①事業所の就業関係の改善課題について、スタッフ（委託業者を含む）などの現場の意見を幹部職員が把握できる仕組みがある。	B	
			16 ②福利厚生に積極的に取り組んでいる。	A	
			17 ③職員の質の向上への体制整備	A	
		(3) 職員の質の向上への体制整備	18 ①職員の教育・研修に関する基本方針が明示されている。	A	
			19 ②定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	A	
			19 ③実習生の育成について、積極的な取り組みを行っている	A	
	3 安全管理	(1) 利用者の安全確保	20 ①緊急時（事故、災害、感染症の発生時など）の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。	A	
			21 ②利用者の安全確保のためにリスクを把握し、対策を実行している。	A	
			22 ③地域との交流・連携を図っている。	A	
	4 地域との交流と連携	(1) 地域との適切な関係	23 ②利用者ニーズに応じて、施設外にある社会資源を活用している。	A	
			24 ③事業所が有する機能を地域に還元している。	B	
			25 ④関係機関等との連携が適切に行われている。	B	
			26 ①地域の福祉ニーズを把握している。	A	
		(2) 地域福祉の向上	27 ②地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。	A	
			28 ①施設の全職員を対象としたプライバシーの保護に関する研修を行なっている	A	
	III 適切な福祉サービスの実施	1 利用者本位の福祉サービス	(1) 利用者尊重の明示	29 ②プライバシーの保護の考え方の徹底を職員の間で行っている。	A
				30 ①利用者満足の向上を意図した仕組みを整備している。	A
			(2) 利用者満足の向上	31 ②利用者満足の向上に向けた取り組みを行っている	A
32 ①苦情又は意見を受け付ける仕組みがある				A	
(3) 利用者意見の表明			33 ②寄せられた意見、要望やトラブルに対応するシステムがある。	A	
			34 ③利用者からの意見等に対して迅速に対応している	A	
2 サービスの質の確保		(1) サービスの質の向上への取り組み	35 ①サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	A	
			36 ②課題発見のための組織的な取り組みをしている。	B	
			37 ③常に改善すべき課題に取り組んでいる。	A	
		(2) サービスの標準化	38 ①職員の対応について、マニュアル等を作成している。	A	
			39 ②日常のサービス改善を踏まえてマニュアルの見直しを行っている。	B	
			40 ①利用者の日常の体調の変化を把握して、それを記録している。	A	
(3) 実施サービスの記録		41 ②利用者の状態変化などサービス提供に必要な情報が、口頭や記録を通して職員間に伝達される仕組みがある。	A		
		42 ①施設利用に関する問合せや見学に対応している。	A		
3 サービスの開始・継続	(1) サービス提供の適切な開始	43 ②サービスの開始に当たり、利用者等に説明し、同意を得ている。	A		
		44 ①利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している。	A		
4 サービス実施計画の策定	(1) 利用者へのアセスメント	45 ①一人一人のニーズを把握して個別の支援計画を策定している。	A		
		46 ②個別支援計画の内容が常に適切であるかの評価・見直しを実施している。	A		
	(2) 個別支援計画の策定	47 ③個人情報保護に関する規定を公表している。	A		
		(3) 情報の管理	47 ③個人情報保護に関する規定を公表している。	A	

項目別評価結果・評価コメント

事業者名 キッズプラザアスク七光台保育園

評価基準	項目番号	評点	コメント
I 福祉サービスの基本方針と組織			
I-1 理念・基本方針			
I-1-1 (1) 理念、基本方針が確立されている。			
I-1-1 (1)-① 理念が明文化されている。	1	A	㈱日本保育サービス運営本部（以下「本部」という）の運営理念、保育園の目標は明示されていません。 入園時の「入園のご案内」（重要事項説明書）により保護者への説明もおこなわれ、目指す方向が確認できます。
I-1-1 (1)-② 理念に基づく基本方針が明文化されている。	2	A	保育園業務マニュアルで示されています。これから具体的に推進されることを期待します。
I-1-1 (2) 理念、基本方針が周知されている。			
I-1-1 (2)-① 理念や基本方針が職員に周知されている。	3	A	理念や基本方針は登降口に掲示され、職員会議などで職員に周知されています。職員全体で共有できるよう継続的な取り組みを望みます。
I-1-1 (2)-② 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	4	A	理念や基本方針をわかりやすく説明した資料(マンガ冊子など)により保護者に説明をおこなっています。
I-2 計画の策定			
I-2-1 (1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。			
I-2-1 (1)-① 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	5	C	開園初年度であり中期計画・事業計画を作成するには至りませんでした。今年度は施設、組織運営の整備見直しを課題として職員会議で話し合い園庭問題を中心に本部と相談の上改善に取り組んでいます。
I-2-1 (2) 重要課題の明確化			
I-2-1 (2)-① 事業計画達成のための重要課題が明確化されている。	6	B	施設、組織運営の見直しをおこない、課題が明らかになっています。次年度以降事業計画を明確にして取り組むことを期待します。
I-2-1 (3) 計画が適切に策定されている。			
I-2-1 (3)-① 施設の事業計画等、重要な課題や方針を決定するに当たっては、職員と幹部職員とが合議する仕組みがある。	7	A	保育園の計画、行事など職員会議や昼礼、職員との個人面談などで話し合いがおこなわれています。保護者アンケートも実施され、次の計画に生かされています。

評価基準	項目番号	評点	コメント
I-3 管理者の責任とリーダーシップ			
I-3-(1) 管理者のリーダーシップが発揮されている。			
I-3-(1)-① 質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	8	A	園長、主任が現場でOJTに取り組んでいます。職員に積極的に研修参加を促し、研修レポートも提出されています。研修の成果を現場に生かし、多くの職員と共有する工夫が望まれます。
I-3-(1)-② 経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	9	A	職員の配置はシフト勤務で本部との調整で効率的におこなわれ、一時的な欠員は近隣グループの他保育園から応援があります。経費は事前に本部への申請で効率的に処理されています。本部の園長会議が定例でおこなわれています。
II 組織の運営管理			
II-1 経営状況の把握			
II-1-(1) 経営環境の変化等への対応			
II-1-(1)-① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	10	A	情報は本部の園長会議で収集できています。野田市とは本部のエリア担当が連絡を取り合っています。
II-1-(1)-② 経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取り組みを行っている。	11	A	人員の配置は本部との間で毎日おこなわれ、現場での改善検討は園長、主任がおこない、職員会議、昼礼などで話し合われています。
II-2 人材の確保・養成			
II-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。			
II-3-(1)-①施設の全職員が守るべき倫理を明文化している	12	A	保育園業務マニュアル、就業規則などで明文化され、職員にも周知されています。今後読み合わせなどで研修していくことが望まれます。
II-2-(1)-②人事方針を策定し、これに基づく職員採用、人材育成を計画的・組織的にしている。	13	B	人事方針は本部の専権事項です。正社員の採用は本部でおこない、配属や異動は各保育園を担当するエリアマネージャーの会議でおこなわれています。昇格もエリアマネージャー会議の推薦で本部が決定する仕組みとなっており、昇格基準の明確化が望まれます。
II-2-(1)-③職員評価が客観的な基準に基づいて行われている。	14	A	個人毎の査定表があり、年に3回査定をおこない、賞与や昇給に反映されています。園長とエリアマネージャーが評価、査定し、結果を園長が面談でフィードバックしています。
II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。			
II-2-(2)-①事業所の改善課題について、スタッフ(委託業者を含む)などの現場の意見を幹部職員が把握できる仕組みがある。	15	B	シフト勤務で勤務表が管理されています。フリーを1名置くことで交替で週休は確保され、年休も必要な時に請求取得できるようになっています。休憩時間がいまいで、休憩室を確保し時間に区切りをつけて休憩をとれる態勢にすることが望まれます。
II-2-(2)-②福利厚生事業に積極的に取り組んでいる。	16	A	福利厚生は会員制のフィットネスクラブ、リゾートホテルがあり、利用者に人気があります。また「健康チェックアンケート」が職員に配布され、その結果メンタルヘルスを含めて専門家のアドバイスをレポートが送られてきます。

評価基準	項目番号	評点	コメント
Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上への体制整備			
Ⅱ-2-(3)-① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	17	A	職員の研修は奨励され希望に応じて受講できます。幼児安全法などの資格取得の講習にも積極的な参加が呼びかけられ、取得者には手当も支給されています。
Ⅱ-2-(3)-② 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	18	A	職員は年2回研修計画を作成し、受講後、研修レポートを提出しています。研修レポートを活用して多くの職員と成果を共有することが望まれます。
Ⅱ-2-(3)-③ 実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。	19	A	開園初年度ということもあり受け入れ実績はありませんが、実習生プログラムは用意されています。
Ⅱ-3 安全管理			
Ⅱ-3-(1) 利用者の安全を確保するための取り組みが行われている。			
Ⅱ-3-(1)-① 緊急時(事故、災害、感染症の発生時など)の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。	20	A	セコムの緊急通報システムが設置されており、安全確保には前向きに取り組んでいます。保育園業務マニュアルに感染症、事故、災害の対応が示されています。避難路も複数用意されています。安全チェックは、他園の安全委員による相互チェックをおこなう仕組みがあります。
Ⅱ-3-(1)-② 利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	21	A	本部に安全委員会が設置されています。研修にも全職員が積極的に参加して事故防止の意識を高めています。アクシデントレポートを分析して事故防止に役立つ取り組みを望みます。
Ⅱ-4 地域との交流と連携			
Ⅱ-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。			
Ⅱ-4-(1)-① 地域との交流・連携を図っている。	22	A	地域ニーズに応じて一時保育が実施され、近くの公園でのほかほか広場など、地域の子育て支援に前向きに取り組まれています。
Ⅱ-4-(1)-② 利用者ニーズに応じて、施設外にある社会資源を活用することを支援している。	23	A	近隣公園の活用、小学校との交流会、園児および地域の高齢者との交流などが実施されています。継続して発展させることを期待します。
Ⅱ-4-(1)-③ 事業所が有する機能を地域に還元している。	24	B	体制を整備することを先行させて地域への還元はこれからです。園紹介のパンフレット、インターネットなどを活用して、地域に貢献できる体制づくりを期待します。
Ⅱ-4-(1)-④ 関係機関との連携を図っている。	25	B	小学校との交流を始めています。交流の機会を増やし、その中からネットワークを作り方を期待します。

評価基準	項目番号	評点	コメント
Ⅱ-4-(2) 地域の福祉向上のための取り組みを行っている。			
Ⅱ-4-(2)-① 地域の福祉ニーズを把握している。	26	A	野田市の園長会議への参加などで情報を収集し、地域のニーズを把握しています。住民要望は、当面一時保育や保育園行事に参加した方から相談を受ける体制を作っています。
Ⅱ-4-(2)-② 地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。	27	A	一時保育に積極的に取り組んでいます。10月から始めて、利用者が10月3名、11月11名、12月20名とハイペースで増えています。
Ⅲ 適切な福祉サービスの実施			
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス			
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。			
Ⅲ-1-(1)-①施設の全職員を対象としたプライバシーの保護に関する研修を行なっている	28	A	園内でのプライバシー保護について、職員会議、昼礼などで話し合っています。職員から研修受講の申し出があれば参加できるようになっています。
Ⅲ-1-(1)-② プライバシーの保護の考え方の徹底を職員の間で図っている。	29	A	プライバシー保護についての個人情報保護マニュアルがあり、職員会議、昼礼などで確認し、これに基づいて保育が進められています。
Ⅲ-1-(2) 利用者満足の向上に務めている。			
Ⅲ-1-(2)-① 利用者満足の向上を意図した仕組みを整備している。	30	A	保護者全員を対象とした運営委員会やクラス懇談会、アンケートなど保護者の意向を把握して、満足度を向上させる取り組みをおこなっています。
Ⅲ-1-(2)-② 利用者満足の向上に向けた取り組みを行っている。	31	A	運営委員会などで出された改善要望は職員会議で話し合い、必要があれば本部へ報告し、結果は保護者へフィードバックされています。
Ⅲ-1-(3) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。			
Ⅲ-1-(3)-① 苦情又は意見を受け付ける仕組みがある。	32	A	保育内容に関する相談・苦情などの連絡先は本部となっていますが、日常的には保育園でも受け付けて解決に当たっています。第三者委員が配置された苦情解決体制づくりが望まれます。
Ⅲ-1-(3)-② 寄せられた意見、要望やトラブルに対応するシステムがある。	33	A	保育園などに寄せられた苦情は、本部とも相談の上、できるだけ早く解決し、フィードバックしています。
Ⅲ-1-(3)-③ 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	34	A	保育園業務マニュアルがあり、保護者からの意見などに対応をおこなっています。保護者からの意見には保育園内で話し合い改善につとめられています。

評価基準	項目番号	評点	コメント
Ⅲ-2 サービスの質の確保			
Ⅲ-2-(1) 質の向上に向けた組織的な取り組みが組織的に行われている。			
Ⅲ-2-(1)-① サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	35	A	自己評価にもとづいて第三者評価を受審し、サービス向上につとめています。 全員参加の評価検討が望めます。
Ⅲ-2-(1)-② 課題発見のための組織的な取り組みをしている。	36	B	職員会議などで課題発見には日常的に取り組まれています。 課題は職員全員で共有化されることを望みます。
Ⅲ-2-(1)-③ 常に改善すべき課題に取り組んでいる。	37	A	明確になった課題については、職員会議、昼礼などで職員参加のもとで解決方法を話し合い、本部へ報告し、改善に取り組んでいます。
Ⅲ-2-(2) 個々のサービスの標準的な実施方法が確立している。			
Ⅲ-2-(2)-① 職員の対応について、マニュアル等を作成している。	38	A	保育園業務マニュアルに職員の対応について示され、職員会議、昼礼などで話し合い、周知徹底されています。
Ⅲ-2-(2)-② 日常のサービス改善を踏まえてマニュアルの見直しを行っている。	39	B	マニュアル類の見直しは必要に応じて本部がおこなっています。その結果は全職員に周知し、保育サービスに反映しています。「各種マニュアル」は、全職員が日常的に活用できるような工夫が望まれます。
Ⅲ-2-(3) サービス実施の記録が適切に行われている。			
Ⅲ-2-(3)-① 利用者の日常の体調の変化を把握して、それを記録している。	40	A	園児ひとりひとりの健康管理がノートでおこなわれています。記入内容を標準化することが望まれます。
Ⅲ-2-(3)-② 利用者の状態変化などサービス提供に必要な情報が、口頭や記録を通して職員間に伝達される仕組みがある。	41	A	園長会議で共有された情報が職員会議、昼礼などで全員に周知されています。伝達事項などは連絡ノートなどで確認されています。
Ⅲ-3 サービスの開始・継続			
Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始が適切に行われている。			
Ⅲ-3-(1)-① 施設利用に関する問合せや見学に対応している。	42	A	ホームページ、パンフレットなどで保育園の内容を紹介しています。一時保育、体験入園なども実施されています。
Ⅲ-3-(1)-② サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	43	A	入園時保護者に「入園のご案内(重要事項説明書)」で説明されています。利用申込は野田市の規定にもとづいておこなわれています。

評価基準	項目 番号	評点	コメント
Ⅲ-4 サービス実施計画の策定			
Ⅲ-4-(1) 利用者のアセスメントが行われている。			
Ⅲ-4-(1)-① 利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している。	44	A	入園時「面接シート」を活用して実施し、一人ひとりの具体的なニーズや課題を把握しています。
Ⅲ-4-(2) 個別支援計画の策定			
Ⅲ-4-(2)-① 一人一人のニーズを把握して個別の支援計画を策定している。	45	A	個別の指導計画が作成されています。子どもの発達過程に即した作成の見直しを期待します。
Ⅲ-4-(2)-② 個別支援計画の内容が常に適切であるかの評価・見直しを実施している。	46	A	個別指導計画の見直しは、月1回クラス毎におこなわれています。
Ⅲ-4-(3) 情報の管理			
Ⅲ-4-(3)-① 個人情報保護に関する規程を公表している。	47	A	個人情報保護方針(プライバシーポリシー)がホームページに掲載され、保育園内にも掲示されています。

福祉サービス第三者評価項目（保育所）の評価結果					評価結果	
大項目	中項目	小項目	項目			
IV 保育所	1 子どもの発達援助	(1) 発達援助の基本	1	保育計画が、保育の基本方針に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して作成されている。	B	
			2	指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき、指導計画を改定している。	B	
		(2) 健康管理・食事	3	登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。	A	
			4	健康診断（内科、歯科）の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	A	
			5	感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している。	A	
			6	食事を楽しむことができる工夫をしている。	A	
			7	子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている。	A	
			8	子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。	A	
			9	アレルギー疾患を持つ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行っている。	A	
			(3) 保育環境	10	子どもが心地よく過ごすことができる環境を整備している。	A
				11	生活の場に相応しい環境とする取組みを行っている。	B
		(4) 保育内容	12	子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている。	A	
			13	基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している。	A	
			14	子どもが自発的に活動できる環境が整備されている。	B	
			15	身近な自然や社会と関われるような取組みがなされている。	A	
			16	遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。	A	
			17	子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てよう配慮している。	A	
			18	性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している。	A	
			19	乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる。	B	
			20	長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる。	A	
	21		障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる。	A		
	2 子育て支援	(1) 入所児童の保護者の育児支援	22	一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行っている。	A	
			23	家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている。	A	
			24	こどもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている。	A	
			25	虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている。	A	
			26	虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている。	A	
		(2) 一時保育	27	一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている。	A	

項目別評価結果・評価コメント

事業者名 キッズプラザアスク七光台保育園

評価基準	項目 番号	評点	コメント
IV 保育所			
IV-1 子どもの発達援助			
IV-1-(1) 発達援助の基本			
IV-1-(1)-① 保育計画が、保育の基本方針に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して作成されている。	1	B	保育過程・保育指導計画が作成されています。保育所保育指針、及び保育プログラムの内容を踏まえ、継続的で総合的な計画の作成を期待します。
IV-1-(1)-② 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき、指導計画を改定している。	2	B	指導計画の評価は行われています。子どもの育ち、保育のねらい・内容・環境構成・援助などが適切であったかの視点で見直し、指導計画へ反映されることを期待します。
IV-1-(2) 健康管理・食事			
IV-1-(2)-① 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。	3	A	登降時、発熱時などの健康管理に関するマニュアルがあります。生活記録・職員連絡ノートの活用や児童健康調査票（既往症・予防接種など）を把握しています。子ども一人ひとりの健康状態を関係職員に周知し、保育・保護者対応に生かしています。また、体調のすぐれない子どもは個別に対応しています。発熱児への対応で医務室等のスペースの確保が望まれます。
IV-1-(2)-② 健康診断（内科、歯科）の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	4	A	内科検診（年2回）歯科検診（年1回）を実施し、書面で保護者に伝えています。健康診断の結果は必要に応じて保育での配慮を行ない、守秘義務も尊重されています。
IV-1-(2)-③ 感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している。	5	A	感染症対応、災害・事故などの緊急対応マニュアルがあります。職員が感染症に関する研修にも参加し、全職員にシュミレーションも交え周知しています。嘔吐等に即応できるように使い捨て手袋・マスクなど用意されています。また、毎月の保健だよりや掲示により、感染症の情報が保護者に提供されています。
IV-1-(2)-④ 食事を楽しむことができる工夫をしている。	6	A	食育の一環として、4~5歳児を対象にクッキング保育を行っています。また、本部からの食農指導員（巡回）と連携し、身近な野菜を育て給食に取り入れています。個人差に配慮した食事量や年齢に応じ配膳の当番など、食事への興味・関心の工夫がされています。部屋の雰囲気づくりとして、布団を敷くタイミングなどの配慮が望まれます。
IV-1-(2)-⑤ 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている。	7	A	給食は本部で作成した統一の献立表（離乳食・延長・アレルギー食を含む）を用いていますが、月1回給食会議を行い子どもの給食に対する嗜好状況等を伝えています。食事の介助など、発達過程に沿った援助のマニュアル化を期待します。
IV-1-(2)-⑥ 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。	8	A	献立表を事前に配布し、当日はサンプルを展示しその日の献立や量を保護者に伝えています。また、本部で作成した給食だよりでレシピや子どもの食に関する啓発を行っています。
IV-1-(2)-⑦ アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行っている。	9	A	入園時、保護者に対してアレルギーに関する調査を行い、それに基づいて医師の指示書により、アトピー性皮膚炎・食物アレルギーへの対応をしています。食物アレルギーに対しては除去・代替食を用意し、誤食を防ぐため色違いのトレーを使用しています。またアレルギー進行表に状況の変化が記録されています。

評価基準	項目番号	評点	コメント
IV-1-(3) 保育環境			
IV-1-(3)-① 子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	10	A	保育園は地熱を利用した空調システムで体に優しく、木のぬくもりもあり、明るく採光・風通しも良好で清潔が保たれています。また、手洗いは安全が考慮され、トイレもドライで段差もなく利用しやすくなっています。寝具素材(1歳以上用)の通気性への配慮、乾燥などや布団カバー洗濯の省力化を期待します。
IV-1-(3)-② 生活の場に相応しい環境とする取り組みを行っている。	11	B	子ども一人ひとりに対し保育者は優しく語りかけ、求めに応じ適切な対応がされてしています。また、近隣の公園で遊具や体を動かし遊ぶなど屋外での活動に努めています。園庭で体を動かし遊具で遊べる環境の整備や池と築山の安全性への対応の検討を期待します。
IV-1-(4) 保育内容			
IV-1-(4)-① 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている。	12	A	子ども一人ひとりへの思いを受け止め受容し、暖かな言葉遣いでおだやかに話し、せかす言葉や禁止の言葉を必要以上に使用している様子は見受けられませんでした。
IV-1-(4)-② 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している。	13	A	排泄は一人ひとりのリズムに合わせており、おもらしなどの対応は子どもの心を傷つけないように配慮されています。また、衣服の着脱は子どものペースで自分で行おうとする意欲を大切に見守り援助されています。食事から午睡の活動の中で、時間的ゆとりや歯磨きの方法など早いうちから良い習慣が身に付くよう保育内容を工夫することを期待します。
IV-1-(4)-③ 子どもが自発的に活動できる環境が整備されている。	14	B	子どもの発達過程に合わせた玩具が用意されています。自由に素材や用具・玩具を取りだして遊んだり、好きな遊びができるコーナーなど、自発的に活動できる遊びの環境づくりを期待します。
IV-1-(4)-④ 身近な自然や社会とかかわれるような取り組みがなされている。	15	A	自然に恵まれており、蝶の飼育や畑での野菜の栽培など、自然に触れる機会も多く体験できるような取り組みを行っています。また、子どもの日・七夕・七五三など日本の伝統的な行事を保育の中に取り入れ、行事にちなんだお楽しみ給食が行われています。
IV-1-(4)-⑤ 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。	16	A	生活や遊びの中で子ども同士の人間関係が育つよう援助されています。3歳以上児は異年齢での活動が多く年少児は年長児へのあこがれ・年長児は年少児への思いやる姿が見られ関係性が育まれています。また、当番活動や遊びを通して順番や社会性が身に着くように配慮されています。
IV-1-(4)-⑥ 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てよう配慮している。	17	A	子どもが自分の意思を保育者などに伝えられるように、話しやすい雰囲気づくりや子ども同士が自分の気持ちを相手に伝えられるよう保育者が仲立ちで援助されています。2歳以上児は独自の保育プログラムの英語を楽しみながら参加し、ハロウィンなど異文化に触れて遊ぶ機会が設けられています。
IV-1-(4)-⑦ 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している。	18	A	保育や生活の中で色・服装・職業・遊びなどにおいて、性差への固定概念につながる言葉かけや対応は見受けられず、出席簿も混合になっています。
IV-1-(4)-⑧ 乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	19	B	授乳・おむつ交換でのスキンシップを図り、離乳食も家庭との連携を密に進められ、外遊び(庭・散歩)やふれあい遊びなど行っています。SIDSや幼児安全法の研修への参加、乳児生活記録(0~1歳児)に睡眠時10分毎観察記録しています。産休明けからの預かりにおける安心して眠れる環境などの考慮(部屋の大きさ・音への配慮)や家庭的な雰囲気のある生活と遊びの環境づくりを期待します。

評価基準	項目番号	評点	コメント
IV-1-(4)-⑨ 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	20	A	長時間保育の子どもには夕食(20時)補食(19時)を提供し、シフト勤務(7時-20時)により、日中の保育との連携がとりやすい体制になっています。異年齢での自由あそびをし、子どもの状況は長時間保育日誌に記録され保護者との連絡に活用されています。絨毯などを敷きつろげるコーナーなどの環境の工夫を期待します。
IV-1-(4)-⑩ 障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	21	A	現在、障害児は入園していませんが障害児保育の研修に参加し、受け入れ体制は整っています。配慮の必要な子どもに対し、本部から臨床心理アドバイザーの巡回指導を受け、相談シートに基づき、相談・援助の方法などのアドバイス受け保育に生かしています。
IV-2 子育て支援			
IV-2-(1) 入所児童の保護者の育児支援			
IV-2-(1)-① 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行っている。	22	A	送迎の際など、子どもの状況の情報を交換したり、3歳未満児は連絡ノートの活用、3歳以上児はクラスの活動を一冊のノートに記入し降園時に読んでもらうなどの工夫をしています。保護者との個別面談は年1回実施されています。
IV-2-(1)-② 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている。	23	A	家庭の状況、保護者との情報交換の内容は一人ひとりの児童票に記載されています。記録の内容の基準や方法、また、文章表現などへの留意が望まれます。
IV-2-(1)-③ 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている。	24	A	保護者全員参加対象にした運営委員会を夕方6時から行い、子どもの保育と補食を用意し参加しやすい体制を取りながら実施されています。また、クラス懇談会で保護者との意見交換の場が設けられています。保育参加は親子遠足・運動会・発表会など保護者と共通理解を図る取り組みが行われています。
IV-2-(1)-④ 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている。	25	A	虐待対応マニュアルがあり、子どもの状況は保育などの中で常に確認するようにし、虐待が疑われる場合、速やかに園長に報告する体制が整っています。より職員への周知に向け、虐待対応マニュアルの所内研修の実施などの工夫が望まれます。
IV-2-(1)-⑤ 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている。	26	A	虐待が疑われる入園児については、野田市から連絡があり関係機関との連携も図られています。照会・通告についての体制が確立されており連絡先が明示されています。
IV-2-(2) 一時保育			
IV-2-(2)-① 一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている。	27	A	平成21年10月から一時保育を実施し、登録が40世帯を越え、緊急・就労・リフレッシュでの利用が増えています。一時保育室・専任の保育士が配置され、子どもの状況に合わせ個別や通常保育の子どもとの交流を行うなど柔軟に対応しています。保護者へは子どもの様子を丁寧に伝え、育児相談にも応じています。